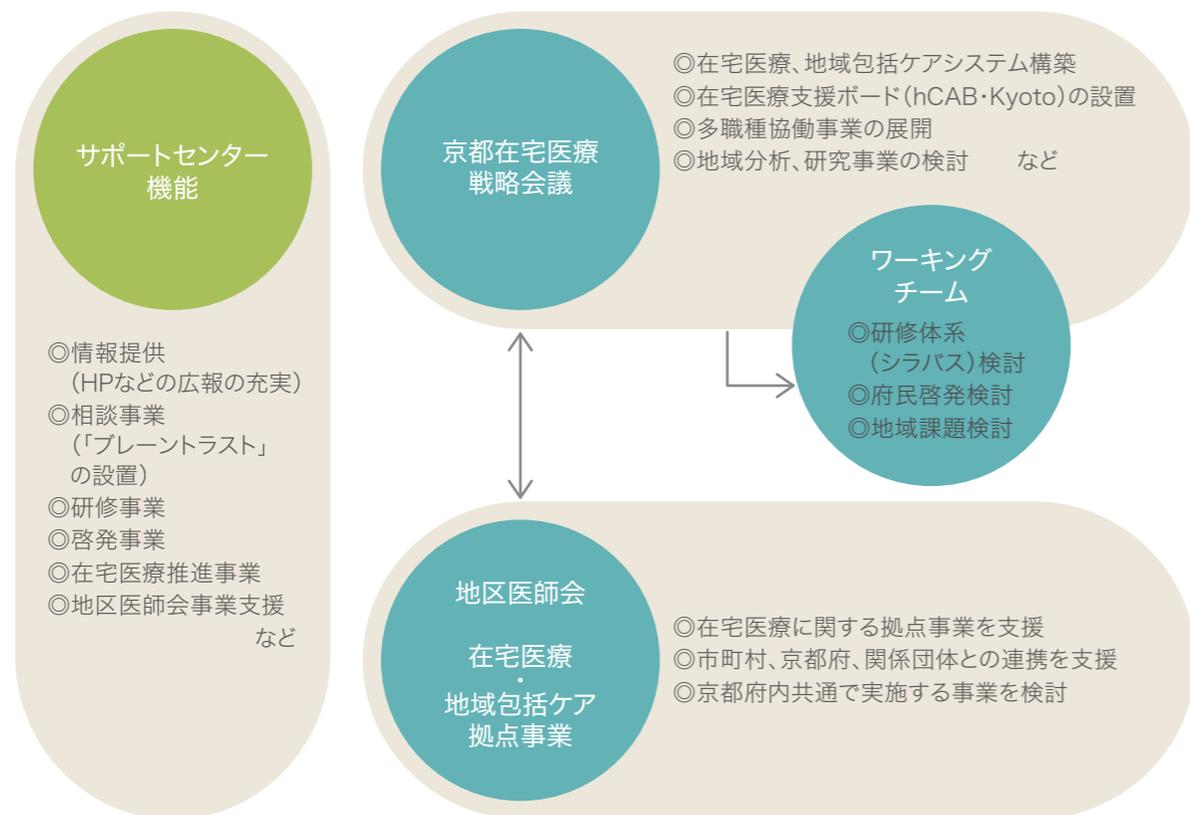


京都府医師会 在宅医療・地域包括ケアサポートセンターの役割



京都府医師会
**在宅医療・地域包括ケア
サポートセンター**
2015.04 START

平成27年4月

「京都府医師会 **在宅医療・地域包括ケアサポートセンター**」を
スタートします！

在宅医療の推進や地域包括ケアの構築のため、「京都府医師会在宅医療・地域包
括ケアサポートセンター」を京都府医師会館3階に創設します。

地区医師会や京都地域包括ケア推進機構等、関連機関との連携をより発展させ、
在宅医療を含む超高齢社会に求められる医療およびケアの充実を目指します。

看護師、介護支援専門員などの専門職や必要な人員を配置し、右記の事業を実施
します。

会員の先生方のご理解・ご協力を宜しくお願いいたします。

01 情報提供

ホームページの充実や多様なメディアを活用し、在宅医療や地域包括ケアに関する情報を発信します。

02 相談事業

在宅医療・高齢者への医療などに関する相談窓口を設置し、在宅医療に関する会員や府民向けの相談事業を実施
します。

相談体制として、関連団体、大学、専門医会等の協力を得て、よりきめ細かに対応します。

03 研修事業

医師向けには超高齢社会に求められる高齢者医療、在宅医療、がん診療、緩和ケア、総合的な診療など、医師に
必要な研修体系を組み立て、実施します。

また、京都府医療トレーニングセンターなども活用した研修など、内容の充実を図ります。その他、多職種や府民
向け研修の充実や、受講しやすい研修環境を整備するため、ICTを活用した研修システムの構築に取り組みます。

04 啓発事業

府民向けの公開講座、情報発信などにより在宅医療への理解を深めます。また、地域包括ケアに必要な考え方、
役割を府民と共に考える機会を設けます。

05 在宅医療推進事業

全ての地区医師会、また病院関係者、関連団体、行政等を構成メンバーとした「京都在宅医療戦略会議」を開催
します。在宅医療の推進を図るための戦略を立て、在宅医療推進に必要な事業、地域分析、地域研究等を検討、
実施します。

テレビ会議システムの充実を図るなど、会議への参加を容易にするための環境整備にも取り組みます。